

面積:200,345平方キロ

(日本の本州の約9/10)(全米50州中16位)

人口:1,961,504人(2020年国勢調査)(全米37位)

(白人78.4%,黒人4.9%,ヒスパニック12.0%,アジア2.7%)
(2020年国勢調査)

州都: Lincoln 愛称: Cornhusker State

ネブラスカ州概要



令和4年5月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

- 知事: ピート・リケッツ (Pete Ricketts)(共)
2015年就任, 現在2期目
- 議会構成: 一院制(総数49議席) 超党派
- 内政状況:
1867年の立州以来, 共和党支持傾向が強く, 1940年来大統領選挙では, 1964年のリンドン・B・ジョンソン(民)以外は共和党が制している。全米でメイン州とネブラスカ州のみ, 選挙人選出が勝者総取りではなく連邦下院選挙区毎となるが, オマハ市圏を含む連邦下院2区は, 2008年及び2012年選挙では民主党(オバマ)が, 2016年選挙では共和党(トランプ)が, 2020年選挙は民主党(バイデン)が制した。

全米唯一の一院制州議会は超党派だが, 事実上共和党で中絶や銃規制問題等におけるその社会的保守性で知られる。

リケッツ知事は, 2018年選挙で2期目再選を果たし, 全米共和党知事会委員長も務めていた。同知事は, 2021年6月バイデン大統領がKeystone XL Pipeline建設計画停止に署名したことに強く反発, 政権の打ち出す環境保護政策がネブラスカ農業, 産業関係者の土地所有の権利を害するとして反対の声明を発出する等している。

2022年知事選は, 三選禁止規定より出馬しない同知事が支持するジム・ピレン候補(共)とトランプ前大統領が支持するチャールズ・ハーブスター候補(共)及び州上院議員のブレット・リンドストローム候補(共)が有力候補として争っている。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 5名
- 2020年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率58.5%)
- 連邦上院議員
デブ・フィッシャー(Deb Fischer)(共)
ベン・サッス(Ben Sasse)(共)
- 連邦下院議員(議席数3名)
民主党0名 共和党2名 空席1名

経済

【州経済】

- 主要産業
・農業: 穀物(トウモロコシ, 大豆), 畜産(牛)
・サービス業: 保険, 通信販売等
- GDP: 1,239億ドル(2021年)
- 1人当たり個人所得: 62,095ドル(2021年)
- 失業率: 2.0%(2022年3月)
- 輸出額: 8,000百万ドル(2021年)
- 輸出品目: 加工食品, 農産物, 化学製品, 一般機械, 輸送用機器
- 輸出相手国(2021年):
メキシコ(22%), カナダ(20%), 日本(10%), 中国(9%), 韓国(8%)
- 財政: (2019年度)(出典: U.S. Census Bureau)
歳入: 12,408百万ドル
歳出: 11,278百万ドル
債務残高: 2,268百万ドル
- 経済状況

ネブラスカ州は, イリノイ州と並び米国を代表するトウモロコシ・大豆の生産州であり, 米国第2位の肉牛生産州である。農業生産を背景とした食品加工も盛んであり, 日本にも供給するプリファード・ポップコーンの本社がある。また, 世界最大の投資持株会社であるバークシャー・ハサウェイ社が本部を置いている。

【対日経済】

- 対日輸入額: 312百万ドル(2021年)
- 主要輸入品目: 一般機械, 化学製品, 輸送用機器, 金属製品
- 対日輸出額: 788百万ドル(2021年)
- 主要輸出品目: 加工食品, 化学製品, 加工金属製品, その他製造品, 輸送用機械
- 日系企業の進出状況/雇用数: 74事業所/4,959人(2021年)。川崎重工業が1974年にリンカーン工場を操業。
- 州駐日事務所あり(神奈川県)

日本との関係

【要人往来】

(往)03年6月, ジョハンス知事が対日貿易促進を目的として訪日。06年11月, シーヒー副知事が駐日事務所開所式出席のため訪日。

また, 日米中西部会出席のため, 知事または副知事が訪日(07年9月ハイネマン知事, 11年9月シーヒー副知事, 13年9月, ハイデマン副知事, 15年9月, 17年9月及び19年9月リケッツ知事)。

(来)18年5月, 菌浦総理補佐官が来訪。18年には中西部会主催ゆえ, 三日月熊本県知事, 上田埼玉県知事, 蒲島熊本県知事が来訪。

【文化, 広報関係】

ネブラスカ大学リンカーン校言語学科には日本語講座が開設されており, 日系企業(川崎モーターズ)の寄贈により主に日本の図書を集めた「川崎文庫」がある。また, リンカーンにはJET帰国者が創設した太鼓グループ「鼓響太鼓」があり, 中西部を中心に活動している。

ネブラスカ大学オマハ校でも日本語講座が開設されている他, 毎年姉妹校提携をしている静岡大学から交換留学生が派遣されている。

日米桜寄贈100周年記念事業ではオマハ市に苗木を寄贈。オマハ市にはローリンツェン日本庭園があり, 静岡県から駿府御門が寄贈されている。2019年12月に日系人の歴史を伝える日本ホールがゲーリングに移転し, 2023年に完成予定。

【在留邦人数(2021年10月1日現在)】

1,507人

【日本人学校・補習校数】

補習校1校(オマハ)

【姉妹都市関係(3)】

静岡市(静岡県)ーオマハ
大津町(熊本県)ーヘイスティング
大津町(熊本県)ーアラパホ

2015年には静岡市とオマハ市の姉妹都市提携が50周年を迎え, 2017年には, オマハ姉妹都市協会が, 両市の友好親善に尽力してきたことから, 外務大臣表彰を受賞した。

【名誉領事】

アンドリュー・シリング(オマハ)